



大型機の外観と刃部の拡大

原理

回転するローターに取り付けられたカッター刃とケーシングに取り付けられた固定刃により、エッジで挟み切る様にして破碎する装置です。プラスチックの様な原料は衝撃力を受けても力を吸収したり、延びたりして細かくする事が困難ですが、カッターミルは主としてせん断力を利用していますので、このような性状の原料でも破碎が可能です。
粒度は、スクリーンと回転数で制御します。

特長

ソフトな原料の破碎ができます
回転刃と固定刃で挟み切る粉碎機です。
ソフトで破碎しにくい原料でも挟み切る様にして破碎が出来ます。

比較的粉の発生が少ない粗碎が可能です
回転数が低く、挟み切る様に破碎しますので、粉の発生が比較的少ない粗碎物が得られます。

熱に弱い原料の粗碎に最適です。
挟み切る様に破碎しますので、熱の発生が少なく、樹脂や食品など熱に弱い原料の粗碎に適しています。

構造が簡単でメンテが容易です。
シンプルな構造ですので、内部の点検清掃が簡単で容易です。

仕様

形式	モーター	回転数	ホッパー幅	高さ	粉碎入口寸法	重量
VM-16	1.5	1500	580	1120	250 × 280	110
VM-20	3.7	1000	580	1380	250 × 280	190
VM-26	5.5	1000	725	1465	350 × 355	290
VM-32	7.5	1000	910	1632	440 × 325	430

対象物

プラスチック、フィルム、シート、ボトル
クッキー等食品、被膜電線や基板等

